



佐藤 まさたか 市政レポート

第97号

2023年2月1日発行

【発行】ちゃんと変えよう!東村山



佐藤まさたか

超党派無所属を貫く理由

ワケ

春の訪れが待ち遠しい日々が続きます。お変わりなくお元気にお過ごしでしょうか。

1月14日(土)、3年ぶりのリアル開催となる第11回早稲田駅伝に仲間と共に参加し、憧れの新国立競技場で走る機会に恵まれました。

早稲田と言えば私の母校とは永遠のライバルですが、10年ほど前から早稲田大学マニフェスト研究所ローカル・マニフェスト推進連盟に関わっているご縁からチームに加えてもらいました。メンバーは、議会改革をテーマにした全国規模の研修会への参加や企画運営を通して日頃から交流し、切磋琢磨してきた、政党や所属はまちまちの地方議員たち6人。1.4kmのコースを計16周タスキをつなぎ、私も2周走りました。大勢に抜かれましたが、あの観客席や橋円に広がる大きな大屋根を見上げながら美しいトラックを走る気分は最高でした。

●5期・20間のご支援に感謝

お陰様で2003年の初当選以来、政党や特定の団体からの支援も推薦も一切受けない「正真正銘の無所属として活動を続けます」という最初のお約束を守り続けることができました。

何故どこにも所属しないのか?と尋ねられることがあります。皆さんの生活に一番近い市議会には、切実な問題がストレートに持ち込まれます。1期目の時、市民の訴えに対して「自分は賛同するが、党の方針でできない」とか、「国政の問題なので対応できない」等と答える議員や、「何を」よりも「誰が」言っているのかで判断を変える議員の姿を目の当たりにする中で、どこにも依りかからず、組織の意向を忖度することなく活動する議員が、地方議会にはどうしても必要だと強く思いました。

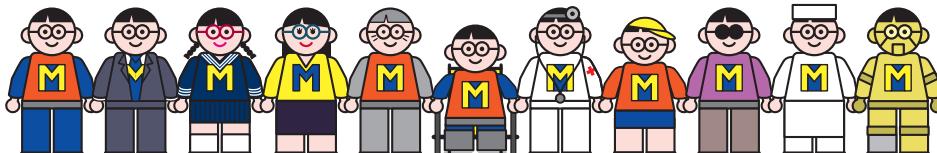
以来20年。東村山市議会ではほぼ例のないこの形で仕事を続けて来られたことに、今、改めて心より感謝を申し上げる次第です。

●私の原点

昭和38年6月、日野市多摩平団地に4人兄弟の長男として生まれ、近くにできた日野社会教育センターに小学1年生から大学時代まで、参加者としてもボランティアスタッフとしても関わりました。私の中の「自治」の原点です。6年生の時に「市長と話す会」に参加し、市長に「クワガタムシやカブトムシがいる雑木林をこれ以上無くさないでほしい」と訴えたことを思い出します。高校時代には、「障害者列車ひまわり号」にボランティアとして参加し、車椅子の人たちと共に階段だらけの街を旅しました。自分ゴトとして社会に関わる人材を育てたいと社会科教員を目指しましたが願い叶わず、慶應義塾大学卒業後に日野社会教育センターに勤め、1999年夏の終わりまで約15年間、子どもたちの野外教育や高齢者の健康づくり、講座やイベントの企画等、学び合い、育ち合いの真ん中で仕事をしました。

●東村山での第2ステージ

社会教育センター退職後に知人の紹介で出会ったのが、東村山の保育所「空飛ぶ三輪車」でした。「都の新たな方針は子どものためにならない」と見直しを唱える施設長・土屋敬一さんと出会い、おむつを替えたり、子どもたちと畑を耕したり、川や野山で遊びつつ、膨大な書類を作成し、都内の小規模保育所や自治体の担当者、都議会等への要請活動、記者会見の手配等々、何でもやりました。思いもよらぬこの経験がその後に活きてきます。



超党派
無所属

佐藤まさたか

初当選から20年。ただ一人、政党や特定団体の支援を一切受けない完全無所属の市議会議員

2002年、市内で規制緩和を逆手に取った保育所計画が秘密裏に進んでいることに教育・保育関係者が異議を唱え、市議会への請願署名を展開しました。事務局としてその取りまとめにあたったことが、翌年39歳での市議選立候補、新しいスタートへと繋がりました。

●5期目の締めくくりを前に

完全な無所属を貫き、「子ども」「障害者」「自然保護」「学び合い」「自治」といったテーマを中心に活動を続けて来られたのは、最前線の方たちに出会い、学び続け、自分自身を更新してくことができたからだと思っています。

2期目からは、当時「怠け者の楽園」と揶揄されていた議会を「市民のためにもっと働く議会」に変えることが使命と考え、価値を共有する方たちと力を合わせて議会基本条例を実現(2014年)。3か月ごとの議会報告会(市民との意見交換)を9年間継続し、のべ1,500人以上の方

にご参加いただき、全国の議会の視察も受けてきました。視覚障害の方たちと進めた安全対策の取組みでは第11回マニフェスト大賞の最優秀政策提言賞を受賞しました。政党・会派の別なく、全国で地方自治の前進、議会改革に奔走する議員、自治体職員、研究者と繋がり、切磋琢磨できていることが私の原動力であり、宝です。

●議会のレベルが自治体の未来を決める

今後、人口減少社会が加速していくれば、聞こえのいい話ばかりは許されず、負担増や施設削減など厳しい選択も避けては通れません。議会は、15万市民を代表して議論し、それを決めることが最大の仕事です。市長と議員が別々に選ばれる「二元代表制」の地方政治では、与党も野党も制度上は存在しないので、批判やチェックだけでなく、政党や会派を超えて市民生活に本当に必要な政策を研究、提案して、力を合わせて新たな価値を実現する機関に変わらなければならないと考えています。

佐藤まさたか活動報告&意見交換会 まさたかミーティングに お出かけください! 誰でも参加いただけるオープンな場です



4月23日投開票の市議選準備も行いつつ、これまで続けてきた「議会直前の最新情報」をお伝えするための場を2月19日にいつも通り開催します。今回は市の新年度予算案を含む3月議会で審議する議案をお見せすると共に、選挙へ向けて私が得ている情報を共有いただく予定です。後援会のような集まりではありませんので、私を支持するとかしないとかに関係なく、情報源の一つとしてお気軽にお越しください。

※市民センター・公民館へは直接お越しください。※オンラインはZoomアドレスをお送りしますのでメールでご連絡ください。
gchapin@sato-masataka.net

2023年
2月の
まさたか
ミーティング



- 朝まさたか@市民センター
2月19日(日)10時~11時半
- 午後まさたか@廻田公民館
2月19日(日)13時半~15時
- 夜まさたか@オンライン
2月19日(日)20時~21時半

まさたかミーティングSP 「東村山の未来を話そう会」

東村山が魅力ある自治体として発展するための大変なテーマと考えて力を入れてきた「緑」と「子ども」について、皆さんと自由にお話して、考えて、深めて、未来を一緒につくっていきたいという思いから、通常のミーティングとは別にスペシャルとして2度開催します。どうぞお気軽にご参加ください。

① 東村山の緑、生き物、環境を 次の世代につなぐために

2月23日(祝)16時15分~18時@中央公民館第3集会室

② 子ども・若者も主役になれるまちに 変えていくために

3月5日(日)19時~21時@サンパルネホール

令和5年3月定例議会の予定

- | | |
|------------------|---------------|
| 2月21日(火)初日 | 市長施政方針／議案審議等 |
| 2月22日(水) | 本会議 議案審議等 |
| 2月27日(月) | 代表質問 自民・公明・共産 |
| 2月28日(火)~3月2日(木) | 一般質問 |
| 3月6日(月)~10日(金) | 常任委員会等 |
| 3月13日(月)~16日(木) | 予算特別委員会 |
| 3月27日(月)最終日 | 議案審議等 |



佐藤まさたか

1963(昭和38)年 日野市生まれ／慶應義塾大学経済学部卒／社会教育、野外教育、保育、学童クラブ等、子どもの現場を中心に勤務後、政党や団体に属さない完全な無所属として5期目の東村山市議会議員／現・政策総務委員会委員、広報広聴委員会副委員長／全国の優れた政策実践に対して贈られる「マニフェスト大賞」を、4年間で3回受賞

声を聴き、足を運び、市政充実と議会改革に取り組んでいます

「佐藤まさたか市政レポート」は不定期の発行です。佐藤まさたか本人とボランティアの仲間が、駅頭(主に東村山駅西口)で配布したり、少しづつポスティングしたりしていますので、連続してお届けできなかったり、発行日から少し時間が経っている場合もございますがご理解ください。バックナンバーはWebサイト(sato-masataka.net)でご覧いただけます。

市政や議会へのご意見、ご相談など、
どうぞお気軽に

FacebookやTwitter、ブログから発信中。

「佐藤まさたか」で検索してみてください!

メールアドレス：

gchapin@sato-masataka.net



東村山市廻田町2-21-13 TEL. 042-398-5265